

# 蒸気活劇 RPG スチームパンカーズ「さよならを言いに来た」

シナリオ作成: 遥 唯祈(Twitter:@HAL\_2002)

配布: <http://card.zero-the.fool.jp/>

本作はりえこ様(@lie00800)の Twitter 企画【同じシナリオタイトルでシナリオ書こうぜ企画】  
「#さよならを言いに来た」の参加作品です。

## プロローグ

イースト・エンドの路地裏を、夜に歩いてはいけないよ。  
腕をとられてしまうから。脚をもがれてしまうから。  
まるで恐ろしいわらべ歌のような噂が、蒸気の街にしみ広がる。  
犯人の行方は杳として知れず、今日も暗闇を悲鳴が引き裂く。

そんなロンドンに、スチームパンカーとして悪を打ち砕いたばかりの  
PC1 が帰ってきた。  
ひとつの淋しい別れの願いを、蒸気機巧の手に携えて。

蒸気活劇 RPG スチームパンカーズ  
「さよならを言いに来た」

——己が信念と蒸気のカで、抑圧を解放せよ!

## シナリオスペック

プレイヤー人数: 2  
反抗 Lv: 1  
プレイ時間: 3~4 (PC 作成を除く)

## テイルズ 1 (PC1 用)

条件: 戦闘に(も) 長けたスチームパンカーとして活躍している

キミは最近も大きな蒸気事件を解決したばかりのスチームパンカーだ。

その事件の黒幕に幽閉されていた老医師ロビンズが、今際の際にキミに頼んでいった。「自分の代わりに、娘に別れを」と。  
彼の家はかつてロンドンのイースト・エンドにあったはずだ。あの街に行けば、久しぶりに知人の PC2 にも会うことができるかもしれない。

シナリオ目的: 「老医師の願いを叶える」

## テイルズ 2 (PC2 用)

条件: イースト・エンドの子供たちの友人

キミには最近、小さな友人たちが出来た。イースト・エンドの下町に住み、工員や掃除夫として働いてもいる貧しい子供たちだ。ある日、彼らは「他の大人には内緒だよ」と言い添えて、彼らの見つけた宝物を紹介してくれた。彼らなりの、キミへの信頼の証なのだろう。  
そんな矢先、イースト・エンドでおぞましい事件が起きる。

シナリオ目的: 「子供たちを守る」

※PC1 と PC2 は、一緒に食事をするところくらいには知人であることが望ましい。

## 推奨サンプル PC

PC1: 剛腕捜査官 or 高潔なる忠臣

PC2: 運命の少年 or 怪傑令嬢 or 敏腕記者

=====

## ストーリー

=====

※ここから先は、GM さん専用の情報です。

PL 予定の方は読まないようお気を付けください。

イースト・エンドの町医者ロビンズには一人娘がいました。身体が弱かった彼女、カナリアは15歳を前にして死んでしまい、それに耐えられなかった老医師は、悪徳科学者ファルケンハインにつけこまれてしまいます。ファルケンハインは彼女を再生者(リジェネレーター)として蘇らせた上で、その代償に自分の研究に協力しろとロビンズ医師に強要し、彼を連れ去って幽閉しました。

その研究所でファルケンハインが起こした蒸気事件は、PCI がこれを阻止・解決しました(テイルズ記載の「最近あった大きな蒸気事件」。内容は特に定めません。PCI の希望があれば自由に考えて構いません)。既に衰弱し、心労も深かったロビンズ医師は助からなかったものの、PCI に「娘への別れ」を託します。本当は「娘が再生者であり、状態からして理性を失って暴走する可能性もあるから、眠らせてやってほしい」と言うところまで説明できればよかったのですが、彼にはそこまでの余力はありませんでした。

カナリアは父から「ここで待っていなさい」と言われたイースト・エンドの屋根裏で、独り言いつけを守って数か月のあいだ待っていました。下町の子供たちに発見され、仲良くもなりました。けれどメンテナンスを受けていないために、徐々に身体が動かなくなる焦りに苛まれます。彼女の身体をメンテナンスして自分のものにし、復活したいファルケンハイン(のバックアップデータを積んだ蒸気機巧)は彼女を唆し、新しいパーツにするための手足を集めさせ始めます。理性が削れて倫理観が働かず、深夜徘徊して若者の腕や脚を奪うカナリアは、深夜の怪異として噂になってゆきます。

ファルケンハインのバックアップの居場所、そしてカナリアが奪った手足を持ちこんでいる場所である隠された研究所を発見し、彼らを止めることができれば、この事件は解決します。

そうしていくつか訪れる「さよなら」を、PC たちが PC たちなりのかたちで伝え、あるいは教えることができれば、今回のシナリオは終了します。

=====

## NPC

=====

### >>ロビンズ医師

元イースト・エンド住まいの老医師。貧しい人にも親切で、下町では「先生」と親しまれていた。

ある理由から悪徳科学者ファルケンハインに逆らえなくなり、本拠地である研究所に連れ去られ、蒸気事件に協力させられていた。PCI に娘への「別れ」を託した依頼人。だが、全てを語り終えるまでに力尽きてしまい、どういう意味での「別れ」を頼んでいったのかは伝えられずじまいになってしまった。

### >>カナリア

ロビンズ医師の一人娘。身体が弱く、15歳までは生きられないだろうと言われていた。現在は再生者。メンテナンスを受けていないため、再びの寿命を迎えつつある。

### >>ドクター・ファルケンハイン

オープニングで PCI が倒した悪徳科学者。ロビンズ医師の弱みを掴んで幽閉し、いいように使っていた。

永遠に生きるための方法を研究し、「自分のバックアップを取っておき、再生者の肉体に移し替えて行く」というろくでもない方法に辿り着く。

=====

## 導入フェイズ

=====

### 導入の演出 A(PC1)

>>描写

テイルズにある「大きな蒸気事件」の結末から、今回の PC1 の物語は始まる。

キミはスチームパンカーとして、とある悪徳科学者を追い、本拠地である研究所で倒したところだ。

研究所に幽閉され、奴に協力を強要されていたロビンズという医師のこともできれば救いたかったが、発見した時には衰弱しすぎていて手遅れだった。

キミの腕の中で、老医師は遺言を残す。

>>セリフ:ロビンズ医師

「気に病まないでくれ。私は奴に従って、たくさんの恐ろしいことに手を染めてしまった。これは、その報いだ」

「奴は…… ファルケンハインは、娘の恩人だったんだ。逆らう勇気が、私にはなかった」

「厚かましいのを承知で、ひとつだけ頼みたい。私の代わりに、娘に、別れを……。あの子は、……あの子は」

>>描写

まだ何ごとか言いたげにしながらも、ロビンズ医師は力尽きてしまう。彼が住んでいたのは、ロンドン東部のイースト・エンド。娘さんも、恐らくはそこにいることだろう。

### 導入の演出 B(PC2)

>>描写

キミは最近、ロンドン下町イースト・エンドに小さな友人たちを持った。みな貧しく、小さな身体で工場勤めをしている子供たちだ。10 人ほどの彼らのリーダーをしているのは「レン」という少年だ。

ある日彼らは、信頼するキミを「ぼくたちの『宝物』」に会わせてあげると、ある廃屋の屋根裏部屋に連れて行った。

>>セリフ:レン

「他の大人たちには、ぜったい内緒だからな」

「こっちこっち。あ、ハシゴ壊れやすいから落ちんなよ」

>>描写

屋根裏部屋には、乾いた柳の枝で編まれた、人ひとりがゆうに入るほど大きな鳥籠が鎮座していた。

その中に置かれた小さな椅子に、白いワンピースを着た美しい少女が座って微笑んでいる。周囲に子供たちが集まり、摘んできた野の花や、拾った綺麗なボタンなどの宝物を籠の中に並べている。

>>セリフ:鳥籠の少女

「あなたは、だあれ？」

「PC2 さん。PC2 さんね。……PC2 さん、わたしの『せんせい』を知らない？」

「わたしは、待っているの。『せんせい』がここで待っていなさいって。だから、どこにもいかないわ」

(全体的にゆったりと、遅れ始めたオルゴールのような話し方)

>>セリフ:レン

「名前、分かんないんだって。だからオレたちは『おひめさま』って呼んでる」

「『せんせい』ってのも、なんのことかわかんねえけど。そのうち帰ってくんじゃねえかな(ちょっとやきもちを焼いていて、ぶっきらぼうに)」

「おひめさま、歌がすげえ上手いんだ。仕事の疲れとか吹っ飛ばせ。PC2 も歌ってもらおう？」

>>描写

少女を囲む、小さな宴。

彼女は、年齢に見合わない過酷な日々を送る子供たちのオアシスなのだろう。日が暮れて間もなくの解散まで、PC2 を加えてのささやかな時間が続いた。

だが、それから数日もしないうちに、PC2 はイースト・エンドの不穏な噂を耳にすることになる。

### 導入の演出 C (PC1、PC2 共通)

ロンドンで 2 人が合流する場面。

>>描写

PC2 と、スチームパンカーとして大仕事を終えロンドンに帰ってきた PC1 は、久しぶりにパブ「ネイバーフッド」で顔を合わせて飲んでいる(年齢によっては食事で)。

(互いの近況などの会話の中で、その PC たちらしい距離感を掴んでもらえるといふ)

と、離れた席で飲んでいた“凍眼”のウィル(ルールブック P.60 掲載/自警団ナイトアイズのリーダー)が PC たちに近づいて話しかけてくる。

>>セリフ:ウィル

「あんた、PC2 だな。最近イースト・エンドによく出入りしてる」

「何かを疑ってるわけじゃない。チビどもが世話になってる礼を一言と思ってな」

「礼のついでに警告だ。ここ数日、イースト・エンドの路地裏で、嫌な事件が起きてる。若い奴らが手やら足やらをちぎり取られるってグロテスクな奴だ」

「俺たちも調べちやいるが、正体が掴めねえ。当面は用心してくれ」

(PC がロビンズ医師周りのことを訊ねた場合)

「ロビンズ先生か。ああ、少し前までイースト・エンドにいた。境界の連中に聞きこんでみな、知ってる奴は多いと思うぜ」

「娘さん？ ああ、確かいたはずだが…… 悪いが俺は詳しくは知らない」

## イベントの提示

>>イベント1「手足を奪う怪物」

- ・技能: ■捜査、■推理、□交渉
- ・【耐久値】2

>>イベント2「ロビンズ医師について」

- 技能: ●雑務、■知識、□礼儀
- ・【耐久値】2

- ・残りイベント数:4
- ・リミット:4

## 調査フェイズ

### イベント1「手足を奪う怪物」

- ・技能: ■捜査、■推理、□交渉
- ・【耐久値】2

ロンドン市内、イースト・エンドに現れた正体不明の存在。人間離れした膂力と敏捷性を持ち、健康な若い人間の腕や脚をもぎ取って走り去るという。はっきりと正体を見た者はいない。

出現するのは必ず深夜。危険だが、その時間帯にイースト・エンドに出れば何かか掴めるかもしれない。シナリオシートにイベント「怪異の夜」を追加すること。

### イベント2「ロビンズ医師について」

- ・●雑務、■知識、□礼儀
- ・【耐久値】2

PCI が看取った老医師について。

かつてこの街に住んでいた。街の人々から情報が集まる。温厚で、お金のない患者にも分け隔てない治療を施し、支払いを待ってくれることもしばしばだった。そのため、イースト・エンドの人々から先生、先生と親しまれている。

歳をとってから生まれた一人娘がいた。名前はカナリア。体が弱く、15歳までは生きられないだろうと言われていた。昨年、冬に肺炎にかかり、以降、街の人々には目撃されていない。同じ頃、「ファルケンハイン」という博士が彼ら親子のもとを訪れたという。それから数週間後、ロビンズ医師もこの街から姿を消した。

ロビンズ医師の元診療所の場所が分かる。何かヒントが残されているかもしれない。シナリオシートにイベント「ファルケンハインについて」「元診療所を調べる」を追加すること。

### イベント3「怪異の夜」

- ・技能: ●運動、○操縦、■捜査
- ・【耐久値】2

深夜のイースト・エンドに出ると、午前2時を過ぎる頃、路地裏からレンの悲鳴が聞こえる。

街灯を壊された真っ暗な路地裏で、足を掴んで何者かに引きずって行かれようとしている。PCが現れるや犯人は逃げ去り、姿を消す。

レンは足の付け根を押さえて痛がっているが、まだ脱臼しているだけで大事はない。PCの誰かが■知識の突発判定に成功できれば、その場で応急手当てして、関節を嵌め直してやることも可能。(失敗してもペナルティはない)

彼は「パトロールをしていた」と話す。「手とか足、取っちゃうバケモノなんだろう。『おひめさま』は手も足もきれいだから、取られちゃうんじゃないかと思って、眠れなくて」

この情報とイベント「診療所を調べる」で得られる情報が揃ったら、シナリオシートにイベント「★ファルケンハインの研究所」を追加すること。

### イベント4「ファルケンハインについて」

- ・技能: ○機械、■捜査、□礼儀
- ・【耐久値】2

PCIが導入フェイズで倒した「悪徳科学者」。ヒステリックな性格をした50絡みの男性。PCIに敗北し、自爆して果てた。

あちこちの街に秘密の拠点を作り、有能な医者や研究者に目をつけては本拠地に連れて行っていった。連れて行く方法は「弱みを掴んで拒否権を奪う」というろくでもないもの。

研究目的は「永遠の命」。自爆する直前にも、「自分にはバックアップがある」「自分は復活する」などと世迷言を吐いていた。

### イベント5「診療所を調べる」

- ・技能: ●筋力、○機械、■推理
- ・【耐久値】2

薬品棚の裏側に、隠し部屋が見つかる。中は再生者技術の資料で溢れかえっている。

手記のようなものも散在する。その中の一枚に娘についての記述。「ファルケンハインの技術で、カナリアが目覚めた。こんなに嬉しいことはない。

何もできなくても構わない。鳥籠の中で幸せに歌っていておくれ」

また、ファルケンハインに渡されたと思しき書類もいくつかある。

この情報とイベント「怪異の夜」で得られる情報が揃ったら、シナリオシートにイベント「★ファルケンハインの研究所」を追加すること。

### イベント6「★ファルケンハインの研究所」

- ・技能: ●運動、○諜報、■捜査
- ・【耐久値】2

イースト・エンドの片隅、廃工場の地下に、大型の研究用蒸気機械が詰めこまれた広い研究所が見つかる。

降りて行くと、血の匂いがする。床に血痕、引きずったような赤黒い跡がいくつもいくつも残っている。

階差演算機関の置かれた研究室が発見できる。

奪われた腕や足が手術台の上に無造作に置かれ、腐臭と血の匂いが溢れかえる中で、手と服をべったりと血で汚したカナリアが奇妙な機械と話をしている。高さ2メートル、直径70cmほどの筒に金属の足がついたような機械だ。PCIが見ると、その機械にも研究室全体にも、ファルケンハインのデザインの癖が強く表れていることが分かる。

機械は見た目こそ不格好だが、オートマータに近い高度な演算機関を積んでいるらしく、滑らかに会話している。ファルケンハインの「バックアップ」とは恐らくあれのことだ。カナリアに何を吹きこんでいるのだろうか。

調査フェイズを終了し、活劇フェイズに移る。

~~~~~  
(その他のイベント) PCが屋根裏の少女と話す場合  
~~~~~

※このイベントは、行われなくても問題のない内容です。

・少女は、やや小柄で幼く見えるが、よく見れば14、5歳と思しい。下町の少年たちが彼女を発見したのは一ヶ月ほど前だという。「『せんせい』を待っているの」と繰り返して話し、屋根裏部屋から離れようとしなない。

・少年たちの話では、「最近手足が上手く動かない」としょんぼりしているらしい。

(PCIが見た場合、ロビンズ医師の面影があると感じる)  
(「カナリア」と呼ぶ場合、鈍いながら反応する。「懐かしい響きだわ。それはなあに?」)

=====

## 活劇フェイズ

=====

今回の活劇フェイズでは、イースト・エンドの深夜の怪異であったカナリア、およびファルケンハインのバックアップが積まれた蒸気機巧との戦闘となる。

PC たちが聞ける下記の NPC の会話、その後の PC たちとの掛け合いや演出が一段落したところで戦闘開始を宣言すること。

今回の勝利条件は「『再生者カナリア』『ファルケンハイン・バックアップ』の双方を戦闘不能にする。

なお、今回の活劇フェイズに登場するエネミーは次の通りとなる。

①カナリア(データは当ページ右下参照)

②ファルケンハイン・バックアップ(データは「警備機械」)

>>研究室から聞こえる会話

カナリア「せんせい、せんせい…… あなたはほんとに、わたしの、せんせい？」

機械「(ファルケンハインの声で) そうだよ。もっと良い状態のパーツを集めてくれば、君の身体をまた治してやれる。再生者(リジエネレーター)の修理なんて、私に掛ければ簡単なものさ」

>>セリフ:ファルケンハイン(バックアップ)

(PC たちが出現した、あるいは PC たちに気づいた)「貴様ら、なぜここが分かった！」

「この子のことは丁重に扱っているだろう？ 大切な、次の私の身体だからな。常に頭脳のバックアップを1つ用意し、再生者の身体を乗り換えて生き続ける。これが私の永遠の命の実現だ！」

「なんだ？ 哀れな再生者の少女を救おうという慈悲深い私を害するつもりかね?(身構える)」

>>セリフ:カナリア

(彼女は再生者としての寿命を迎えかけて理性を失っており、暴走して襲い掛かってくる)

「とらないで、とらないで。それがないと、わたし、せんせいが帰ってくる前に、くさってしまうの！」

※PC たちが勝利条件を満たしたら以下のセリフ・描写へ。

>>セリフ:ファルケンハイン(バックアップ)

(戦闘不能となった)「馬鹿な、今は、バックアップは、もう、これしか……」

「すぐそこに、新しい身体が…… あるというのに……!!」

>>描写

カナリアもまたその場に倒れ込む。

周囲には機材と「材料」、ファルケンハインが残した設計図がある。僅かながら延命が出来る可能性はある。

彼女をここで眠らせてやるか、延命を試みるかの選択を PC に委ねる。

>>セリフ:カナリア

(戦闘不能となった)「せんせい、せんせい…… わたしの せんせい、は、だれだったの、かしら」

「わたしは、いつまで、待ってればいいのか、かな」

(父親のことを伝えたり、何らかのお別れを伝えた場合)

「せんせい、せんせい、……ロビンズせんせい、……おとう、さん」

「ありがとう。わたし、わたし、やっと思い出した——」

※PC たちが延命を試みず、眠らせてやることを選んだ場合 PC たちとの会話を終えると、カナリアは安らかにこと切れる。

※PC たちが残されたパーツを使って延命を試みると言う場合

○機械の突発判定を行う。成功すれば、ほんの数日ではあるが彼女を生き延びさせることができる。既に理性も意識らしきものもなく、ぼんやりと座っているだけだが、子供たちにお別れくらいはさせてやれるかもしれない。

※PC たちがカナリアに何か望みはあるかと訊ねた場合

「父の御弔いをする事」「子供たちにお礼とお別れを言うこと」

=====

## エネミー:再生者カナリアのデータ

=====

分類:機械 脅威Lv:1 技能:★

【先制値】5 【耐久値】23 判定ダイス:2 個

《ひきちぎる》:実行/効果参照/フェイズ 1

1~2:★白兵/低耐久/対象 1/成功数 3

3~5:★白兵/高理性/対象 1/成功数 5

6 :★機甲/低耐久/対象 1/成功数 7

《防衛機能》常時/使用者/なし

対象は★策略以外から受けた★技能の成功数を-1 する。ファルケンハイン・バックアップが戦闘不能になるとこの効果は失われる。

《殺戮者》常時/使用者/なし

対象は判定ダイスを+1 個する(適用済み)

《非法改造》割込/使用者/フェイズ 1

対象が実行の《アビリティ》を使用した直後に宣言する。対象は判定を行うことなく、高理性の対象 1 に●★白兵の成功数 2 を与える。

解説:

ファルケンハインの手で再生者として蘇り、二度目の寿命を迎えつつある少女カナリア。理性も失われかけており、些細なきっかけで暴走する。イースト・エンドの夜の怪異であり、今回の黒幕。

なお、上記は「黒幕の耐久値修正」を既に適用済みのデータである。

=====

## 終了フェイズ

=====

「抑圧の解放」の後、後日譚へ。

---

### 後日譚の演出:PC1

---

自警団リーダーの“凍眼”ウィルが会いに来て、深夜の怪異が現れなくなったという話をする。

レン「急に、ふっつりとな。あんた、何か知ってるか」

PC が経緯を話すなら驚きつつも礼を言う。話さない場合は「てっきりあんたかと思った。力のあるスチームパンカーだって噂を聞いているからな」と。

それから礼、あるいは騒がせた詫びとして、自分たちに何かできることはあるかと訊ねる。

---

### 後日譚の演出:PC2

---

レン少年たちに『おひめさま』のことを訊ねられる。

あの日から、屋根裏の鳥籠の中には誰も居なくなってしまったのだと。彼らに別れをどう伝え、教えるか、あるいは優しい嘘をつくかは PC2 に委ねられる。

---

### 成長とシナリオ終了の処理

---

激憤表を使った PC がいる場合はその演出を終えてから、各 PC は P.135 掲載の成長の処理を行う。

その後、同ページ掲載のシナリオ終了の処理を行った時点で、今回のシナリオは終了となる。

## シナリオの改造

対応する反抗LvやPC人数を変更する場合の手順です。

### 反抗Lv2 または 3 の PC 用に改造する

>>Lv2 用

- ①黒幕「再生者カナリア」のデータを、ページ右側の「Lv.2用」のものに変更します。
- ②「ファルケンハイン・バックアップ」のデータに変更はありません。

>>Lv3 用

- ①黒幕「再生者カナリア」のデータを、ページ右側の「Lv.3用」のものに変更します。
- ②「ファルケンハイン・バックアップ」のデータを「警備機械」のものから「戦闘機械」のものに変更します。

### PL3 人用に改造する

- ①PC1の相棒としてPC3を設定します。テイルズ1記載の「大きな蒸気事件」を、一緒に解決してきた設定になります。PC3用のテイルズは後述のものに、導入はPC1と一緒にします。
- ②調査フェイズの残りイベント数を3、リミットを2に、各イベントの【耐久値】を3に変更します。
- ③調査フェイズのイベント4を削除します(その情報はPC3がテイルズで受け取っているため)。
- ④黒幕「再生者カナリア」の耐久値に加える修正を+10します。
- ⑤エネミーに「警備機械」を1体追加します(Lv3用改造を同時に適用している場合は「戦闘機械」を)。

### テイルズ3(PC3用)

条件:PC1の相棒

キミはPC1の相棒であり、最近も大きな蒸気事件を共に解決してきたところだ。

その事件の黒幕だったファルケンハインという男は最後には自爆して果てたのだが、その直前に気になることを口にしてた。「私は必ず復活する」「私には『バックアップ』がある」と。

悪徳科学者の世迷言だ、と片づけることも出来ただろう。けれど、奴の眼は本気だった。キミのスチームパンカーとしての魂が、まだ戦いは終わっていないと告げている。

シナリオ目的:「ファルケンハインの復活を阻止する」

### エネミー:再生者カナリア(Lv.2用)

分類:機械 脅威Lv:3 技能:★  
【先制値】8 【耐久値】34 判定ダイス:1個

《ひきちぎる》:実行/効果参照/フェイズ1  
1~2:★白兵/低耐久/対象1/成功数6  
3~5:★白兵/高理性/対象1/成功数9  
6:★機甲/低耐久/対象1/成功数12

《狂科学》常時/使用者/なし  
対象の■★機甲の成功数を+1する(適用済み)

《恐怖の支配者》割込/1~4/シナリオ1  
いつでも宣言できる。対象の【先制値】を+5する。

### エネミー:再生者カナリア(Lv.3用)

分類:機械 脅威Lv:3 技能:★  
【先制値】8 【耐久値】34 判定ダイス:2個

《ひきちぎる》:実行/効果参照/フェイズ1  
1~2:★白兵/低耐久/対象1/成功数6  
3~5:★白兵/高理性/対象1/成功数9  
6:★機甲/低耐久/対象1/成功数11

《防衛機能》常時/使用者/なし  
対象は★策略以外から受けた★技能の成功数を-1する。ファルケンハイン・バックアップが戦闘不能になるとこの効果は失われる。

《殺戮者》常時/使用者/なし  
対象は判定ダイスを+1個する(適用済み)

《非合法改造》割込/使用者/フェイズ1  
対象が実行の《アビリティ》を使用した直後に宣言する。対象は判定を行うことなく、高理性の対象1に●★白兵の成功数2を与える。